

東海第二発電所 設計及び工事計画認可申請書 ヒアリング確認事項整理表
【防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更】(1/1)

2025年12月22日
日本原子力発電株式会社

■ : 今回回答 □ : 別途回答 ■ : 回答済

管理番号	対応状況	説明資料	頁	確認事項	回答日	回答内容	反映箇所		
247	251127-1	今回回答	17	2025/11/27	審査会合コメント④に対する回答概要の②地盤ハネの変形特性について、2ボツ目の「ハネの分担面積を減らすことで保守的な設定になっていることを確認した」は事業者側で設定した内容なので「ハネの分担面積を減らすことで保守的な設定としており・・・」というような記載に適正化すること。	2025/12/22 (2025/12/11)	前後文章とのつながりを考慮し、「ハネの分担面積を減らすことで保守的な設定となるよう配慮している。」と記載を適正化した。	資料2-1 P17 資料2-2 P31	
248	251127-2	今回回答	33	2025/11/27	審査会合コメント④に対する回答概要のうち、誤記「貯留席」⇒「貯留堰」に修正すること。	2025/12/22 (2025/12/11)	「貯留席の取付け護岸」を「貯留堰取付護岸」に修正した。	資料2-1 P33 資料2-2 P63	
249	251127-3	今回回答	41	2025/11/27	資料1-1 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)	2025/12/22 (2025/12/11)	粒径加積曲線の赤破線の意味(粒径0.075mm)を追記した。また、配合試験に用いた資料は「液化しやすい」となるよう細粒分含有率も小さく(10%以下)としており、「細粒分の範囲」がわかるよう0.075mm以下の範囲の青線を追記した(資料1-2も同様に青線を追記した)。	資料2-1 P41 資料2-2 P86	
250	251127-4	今回回答	56	2025/11/27	中実鉄筋コンクリート工事に係るモックアップ試験成果の他工事への適用性を示した表中において「高流動コンクリート」はコンクリート打設における悪条件に該当するものではないので、記載位置や記載方法を適正化すること。	2025/12/22 (2025/12/11)	項目の記載「コンクリート打設における悪条件」を「コンクリート打設に係る施工条件」に修正した。各施工ステップの記載は、施工計画に基づく施工条件(配筋やコンクリートの種類)としてまとめ、今回のモックアップ試験と比較することで適用性を確認していることから、施工条件の一部として「高流動コンクリート(フック)」の記載は削除せず残した。	資料2-1 P56 資料2-2 P130	
251	251127-5	今回回答	111, 112	2025/11/27	資料1-2 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)【補足説明資料】	2025/12/22 (2025/12/11)	地盤改良(薬液注入)の既施工箇所から採取した試料により実施した液化強度試験の結果、シリカ含有量増分は管理値を上回ったが、液化強度試験結果の液化強度比が想定より小さかったことに対する理由を明確に記載すること(供試体の乱れを原因とした根拠や事例等を追記)。	資料2-2 P99, P111	
252	251127-6	今回回答	105	2025/11/27	資料1-2 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)【補足説明資料】	2025/12/22 (2025/12/11)	限界注入速度試験は、注水や注入という二種類の表現があるため、水で試験するのかシリカ薬液を使用した試験なのかを確認すること。また、水とシリカ薬液で注入圧力が異なるのではないかと確認すること。	限界注入速度試験は、現地を対象地盤に水(上水)を注入し、その時の注入圧力と注入速度の関係から限界注入速度を求める試験です。また、実際の施工では、限界注入速度試験で決定した注入速度に相当する注入圧力(基準圧力)で浸透注入を開始し、注入速度に着目しながら加圧し、注入速度が限界注入速度を超えないよう必要に応じて圧力を調整します。なお、シリカ薬液の粘性による圧力損失でも注入速度が低下するものの、改良の完了は注入量で管理しており、改良地盤の品質に影響は及ぼしません。	資料2-2 P105 (資料は修正していません。)
253	251127-7	今回回答	112	2025/11/27	未改良土と改良土の液化強度試験による繰返しせん断特性に係る記載のうち、せん断応力比(τ/σ'_m)の σ'_m と液化強度試験試験の概要図(110p)に示す σ_c との関係を明記すること。	2025/12/22 (2025/12/11)	せん断応力比の設定に用いる平均有効主応力 σ'_m の算定式を明示するとともに、液化強度試験における拘束圧(σ_c)との関係性についても追記した。	資料2-2 P112	